

プリズバインドによる治療を受ける 患者さんとそのご家族へ

監修：日本体育大学大学院保健医療学研究科・研究科長、教授 横田 裕行先生

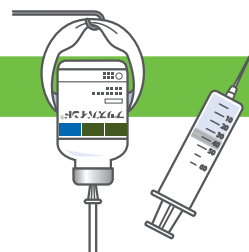
投与の目的

プリズバインドは、あなたが服用している
プラザキサ(ダビガトラン)の血を固まりにくくする作用(抗凝固作用)を
速やかになくす(中和する)ためのお薬です。

プラザキサ服用中は血が止まりにくい状態になっています。
プリズバインドは、プラザキサ服用中に**重大な出血**を起こしたり、
骨折などにより**緊急の手術**が必要になり、血が正常に止まる状態になることが
望まれる場合に投与されます。

投与方法

プリズバインドは、**点滴**または**注射**を用いて
静脈内に投与します。



！ このお薬を投与することにより、次のようなことが起こる可能性があります。

過敏症

ショック、アナフィラキシーを含む過敏症状
があらわれることがあります。

症状：蕁麻疹、胸の痛み、息苦しい、
血圧の低下 など

血栓塞栓症

プラザキサの抗凝固作用が中和されている
状態では、**血栓塞栓症のリスクが高くなる
可能性があります。**

症状：胸の痛み、頭痛、吐き気(血栓ができる
部位により症状は異なります)

このお薬を投与された後、医師の適切な判
断に基づいてプラザキサなどの抗凝固療法
が再開されます。

このお薬に対する免疫反応

このお薬を異物と認識して排除しようとす
る、“**抗体**”とよばれるタンパク質が体内で
作り出されることがあります。

一般的に抗体は、お薬の効果やショック、
アナフィラキシーなどを含む過敏症状の
発現に影響を及ぼす可能性があります。

このお薬で治療された後、
気になる症状が認められ
た場合は、直ちに担当医に
お知らせください。



医療機関名

担当医名

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号 ThinkPark Tower

文献請求先及び問い合わせ先：DIセンター

0120-189-779 (受付時間 9:00～18:00 土・日・祝日・弊社休業日を除く)



013495-C 2024年6月作成